

こころの散歩道

Vol.47 (通巻 239)

令和 5(2023)年 3 月発行 編集発行：栃木県精神保健福祉センター

〒329-1104 宇都宮市下岡本町 2145-13 Tel 028(673) 8785 Fax 028(673)6530

巻頭言

早くも年度末ですが、この 1 年間当センターでは様々な事業を行ってきました。

精神保健アウトリーチ事業では、11 月に地域の支援者と共に研修会を行い、令和 5 年 2 月からはチームとして第 1 例目の支援に乗り出しました。

12 月は研修や重要な会議を立て続けに開催しました。

コロナの影響が心配される自殺対策ですが、この分野での第一人者である札幌医大の河西先生を迎えて研修会を行いました。

また、懸案であった依存症支援関連機関の連携会議を初めて行い、Web 上でしたが関係者が顔を合わせて意見交換を行うことができました。

当センターではこれまではギャンブル依存症に対して積極的に SAT-G を実施してきましたが、今回は次の課題であると考えられるゲーム・インターネット依存に対する研修を学校関係者の多数の参加を得て行うことができました。

本号ではこれらについての情報を載せています。自傷傾向のある不安定な人のためのスキルアップデイケアの紹介、精神科救急情報センターの紹介も載っています。

是非ご一読を。

精神保健福祉センター
所長 島田 達洋

目次

巻頭言	1
会議・研修会の紹介	
1-1 依存症関連機関連携会議	2
1-2 依存症支援者研修 (ゲーム・ネット依存)	2
2 精神保健アウトリーチ事業研修会	3
3 自殺対策担当者研修会	4
定期事業、日常業務の紹介	
1 スキルアップデイケア	5
2 スキルアップ Teen s+	6
3 精神科救急情報センター (精神科救急医療相談電話)	7
4 精神医療審査会の事務	8
相談連絡先一覧	9
統計情報	12
編集後記	16



I 会議・研修会 の紹介

令和4年度に当センターで実施した会議・研修会のうち、主なものを紹介します。

1 令和4年度 依存症対策の取組について

1-1 依存症関連機関連携会議

開催日 令和4年12月8日（木）

参加者 関係機関

会場 Web + 精神保健福祉センター

依存症問題を抱えるご本人やご家族がより円滑に支援に結びつくよう、予防から相談→治療→回復支援に至る切れ目のない支援体制を構築するためには、医療・福祉・司法を含めた関係機関が密接な連携を図る必要があります。

そのため、関係機関とのネットワークを強化し、依存症相談支援体制の整備を図ることを目的として、「依存症関連機関連携会議」を設置しました。

連携会議の構成機関は、アルコール・薬物・ギャンブル等の問題に関わる医療機関や、回復支援施設、自助グループになります。

今年度は、初めての開催ということで、依存症専門医療機関や関係団体等と顔の見える関係を目的に、現状と課題の共有や意見交換を行いました。

引き続き、連携会議を開催し、依存症対策及び相談支援体制の整備を進めていきます。



1-2 依存症支援者研修（ゲーム・ネット依存）

開催日 令和4年12月27日（火）

講話 スマホ・SNS依存（ゲーム障害を含む）基礎的な知識とその対応について

講師 和歌山大学大学院 教育学研究科 教職開発専攻（教職大学院）

専攻長 豊田 充崇 氏

参加者 県内の関係職員

会場 Web

当センターでは、県内の関係職員を対象に、依存症それぞれの特性を踏まえた相談支援に関する研修を実施しています。

今回は「ゲーム・ネット依存」をテーマとした研修を開催しました。令和元年5月にWHOが国際疾病分類に「ゲーム障害」を認定し大きな話題となりましたが、近年マスコミ等で取り上げられることも多く、「ゲーム依存」「ネット依存」「スマホ依存」など様々な言葉で広がりを見せています。当センターにおいても、ゲーム・インターネット関連問題の相談件数は増加傾向にあることから、今回こちらのテーマで、研修を行いました。



学校教育関係・児童福祉関係職員からの受講も多く、137名もの参加があり、関心の高さが伺えました。研修を通じて、ゲーム・ネット依存及びその周辺問題について、依存症等の相談支援に携わる職員だけでなく、教育関係者も含めて、基本的な知識を正しく理解するとともに、予防の大切さや適切な対応方法等を学ぶ研修となりました。

2 精神保健アウトリーチ事業研修会

開催日 令和4年11月29日（火）

テーマ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとアウトリーチ支援の実践

講師 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

藤井 千代 先生

参加者 市町や健康福祉センター等の担当者、相談支援事業者

会場 Web

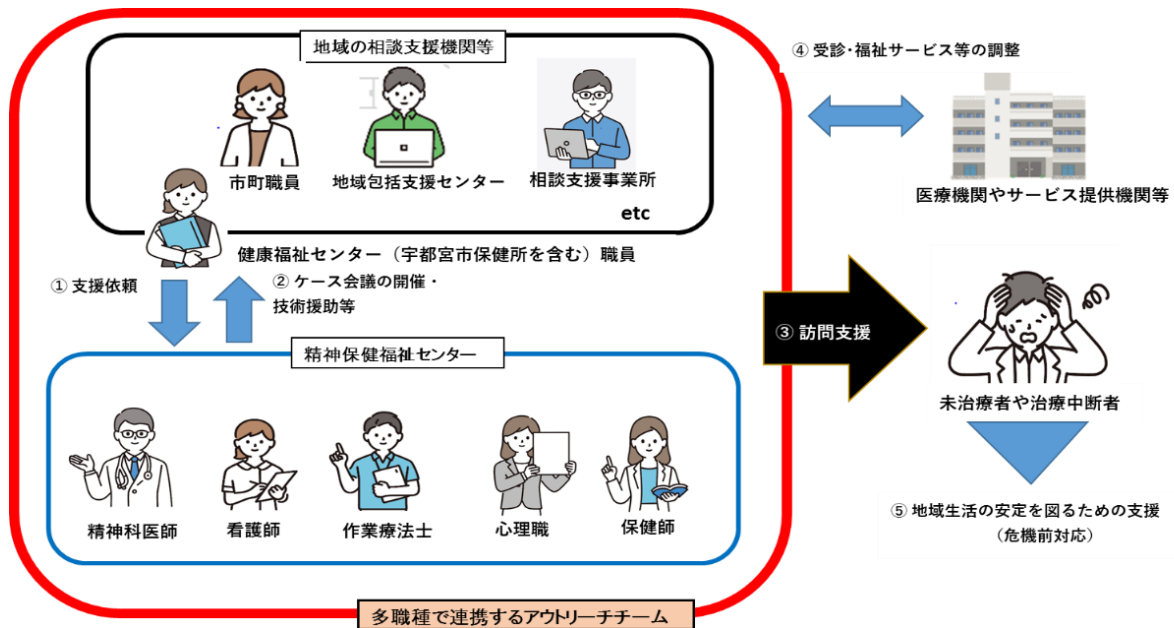
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進の一環として、地域で未治療や治療中断した精神障害者等に対し、当センターの多職種アウトリーチチームが健康福祉センター等と協力してサポートをしていく「精神保健アウトリーチ事業」を今年度から進めていくにあたり、令和4年度精神保健アウトリーチ事業研修会をオンラインで開催し、当日は70名の参加がありました。

講師は、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の藤井千代先生に依頼し、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとアウトリーチ支援の実践」というテーマで、講演と事例検討を行いました。

講演では、対象者の生活を支えるリカバリー支援の重要性や保健型アウトリーチ支援の展開による地域支援力の向上などについてお話いただき、事例検討では地域ごとのグループに分かれて事例を用いて支援の実践についての話し合いを行いました。

参加者からは、「医療のみがゴールではなく、継続的に地域で生活するための支援を考える必要性について理解できた」や「チーム支援の重要性を改めて再認識した」、「アウトリーチ支援で多職種が関わることにより新たな視点が加わり、対象者の理解や支援の幅を拓げていくことができればと

感じた」等の感想が聞かれ、研修会の目的である事業の理念や必要性の理解につながったと思われます。



事業開始に向けて、対象者が地域で安定して生活できるように、地域支援者と連携を図りながら支援を進めていきたいと思いをします。

3 自殺対策担当者研修会

開催日 令和4年12月13日（火）

テーマ 自殺対策の基礎知識：自殺企図行動と当事者理解のために

講師 札幌医科大学神経精神医学講座

主任教授 河西 千秋 先生

参加者 市町や県の自殺対策担当者及び病院関係職員

会場 Web



令和4(2022)年度自殺対策担当者研修会をオンラインで開催し、当日は48名の方に御参加いただきました。

講師は自殺対策研究の第一人者でいらっしゃる札幌医科大学神経精神医学講座主任教授の河西千秋先生に依頼し、『自殺対策の基礎知識：自殺企図行動と当事者理解のために』というテーマで御講演いただきました。河西先生には、自殺問題の推移や自殺問題の本質と自殺のリスク因子(危険因子)について解説していただき、具体的な実践例について御報告がありました。

参加者からは、「地域の自殺対策に関して、どこからどのように手を付けて行ったらよいかを迷う中で、具体的な活動内容を含めてお話を頂き、とても興味深く、また、今後の活動への参考となった」、「メンタルヘルス相談時に根拠を持った対応に役立てられると思った」等、肯定的な感想が多く聞かれていました。今回の研修会を受けて、関係機関同士で自殺対策の見取り図を共有し、継続的な自殺対策を推進していく必要性を強く感じました。

今後も当センターでは、自殺対策についての理解、相談技術の向上を図るため研修の企画をしていきます。奮って御参加ください。

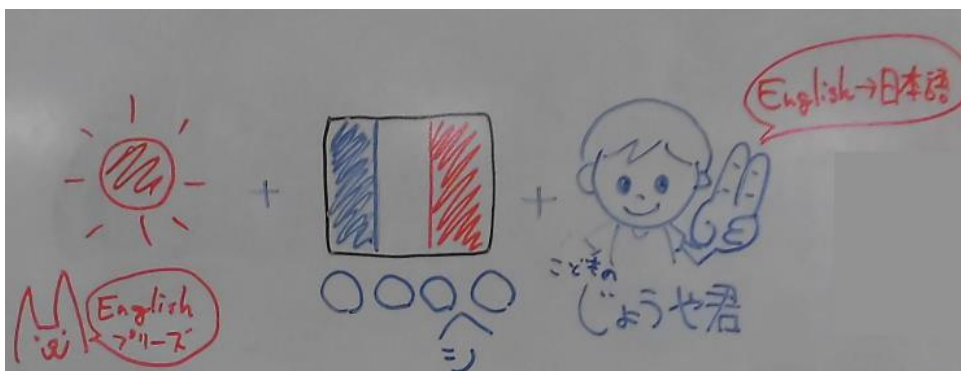
II 定期事業、日常業務 の紹介

令和4年度に当センターで実施している事業の一部を紹介します。



1 スキルアップデイケア

- 毎週木曜日の午後に実施しています。感情調節が難しい方が参加していますが、とても和やかな雰囲気で行っています。マインドフルネススキル、感情調節スキル、対人関係スキル、辛さに耐えるスキルなどの様々なスキルを体験し学んでいきますが、自分の考えや体験を話しやすいような「楽しい時間」となるように心がけています。
- 一番のポイントは「承認」という、「本人のおかれた状況の中で、本人の反応には意味があり、理解できると本人に伝えること」で、「本人と同じ状況であれば、その行動を取ったことは了解可能である」と言葉で伝えていきます。ただし理解できないことは承認しません。
- 自分が「認められる」ことで、「自分を認める」ことにつながり、「自分を大切にする」というように思えるとうれしいです。




「今日は何の日？」クイズのヒントをこんな感じで描いていますが、皆さんが認めてくれることで、毎回続けて書き続けることができます(笑 ※上の絵は4/28に実施したときのヒントです。さて何の日でしょう。(答えは最終ページ)





2 スキルアップ Teens+

- ・主に学生が対象（10代から20代前半まで）で、スキルアップデイケアの簡略版として、感情のコントロールが困難な人たちを対象としています。
- ・中学生、高校生などの自傷行為や自殺未遂等の相談が増加してきたことを受け、感情調節の困難な若年層の方たちにもスキルを届けたいという思いから開始しました。
- ・主に学生を対象としているため、どうしたらよいかと検討に検討を重ねた結果、

<ul style="list-style-type: none"> ・毎週参加することが難しい ・学校を休まなければいけない ・名前を知られたくない ・難しそう・緊張する 		<ul style="list-style-type: none"> ・回数を減らす（全15回を全4回へ） ※スキルアップデイケアの良いところ取り！！ ・長期休暇期間（夏休み・冬休み） ・ニックネームで参加 ・「難しいことを面白く」をコンセプト？ ・「承認」とウェルカムスマイル
--	---	---

様々な工夫と試行錯誤を繰り返して実施しています。

- ・スキルのポイントは「マインドフルネス」。『今の自分と、周りでおきていることに意図的に注意を向けて「気づいている」状態』で、「今、この瞬間」の自分に意識を向けていくことです。ゲームやトークをとおして楽しく体験していきます。



3 精神科救急情報センター（精神科救急医療相談電話）

夜間・休日において、精神疾患を有する方や、そのご家族からの緊急的な精神医療相談を受け付けています。

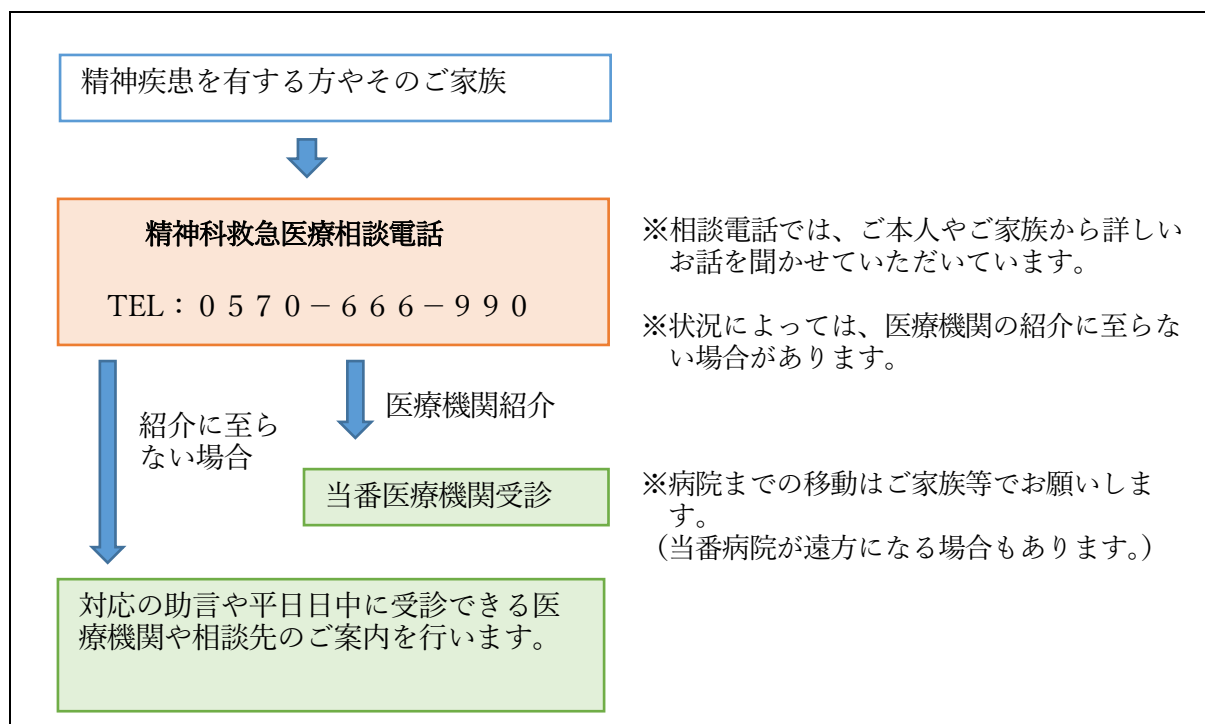
相談内容から、適切な助言を行い、必要に応じて医療機関の紹介を行います。

対象者は、栃木県在住で精神科救急医療を必要とされている精神疾患を有する方や、そのご家族などです。

かかりつけ医（主治医）がいる場合は、まず、かかりつけ医（主治医）にご相談ください。

精神科を受診したことがなく、突然の発症の場合には、経過を詳しく確認させていただきます。

<相談の流れ>



<精神科救急医療の対象となる精神症状悪化の例>

- 幻覚妄想によって興奮が激しい。
 - 会話や行動に全くまとまりがなく、周囲に迷惑をかけている。
 - 落ち込みが激しく、ひどく自分を責めて自殺をほのめかしている。
- ・・・などがあり、常に目を離せない場合



<ご利用にあたって>

緊急性の高い相談に対応することを業務としておりますので、時間をかけた継続的な相談はご遠慮ください。

精神科救急医療以外の精神保健福祉に関する相談については、平日に各市町・各健康福祉センター（保健所）・精神保健福祉センターへご相談ください。

4 精神医療審査会の事務

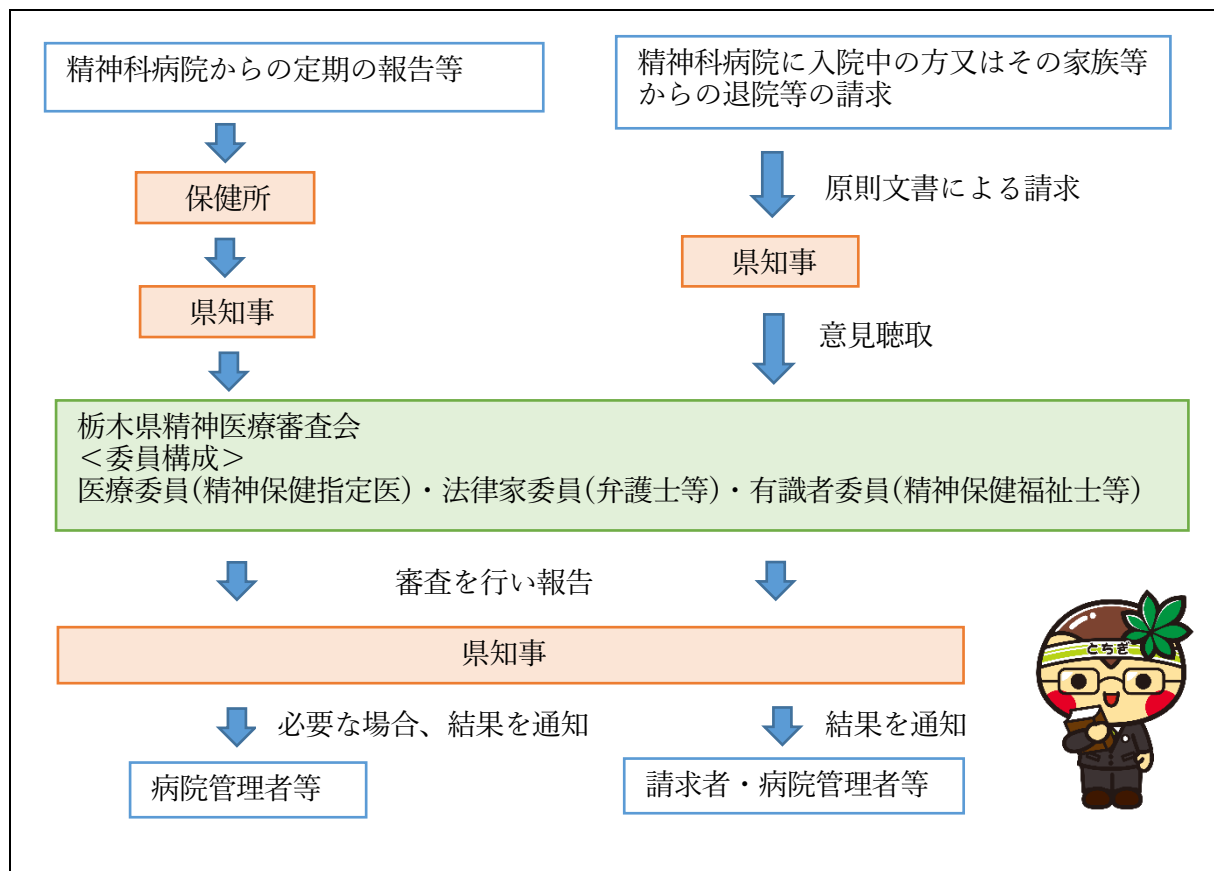
精神医療審査会は、精神保健福祉法第12条及に基づき設置され、その事務は精神保健福祉センターが行っています。

この審査会は、精神障害者の人権に配慮しつつ、その適正な医療及び保護を確保するために、精神科病院に入院している精神障害者の処遇等について専門的かつ独立的な機関として審査を行っています。



<審査の流れ>

栃木県では、審査会の下に3つの合議体を設置し、下図のとおり審査を行っています。



<審査の内容>

① 定期の報告等の審査

病院管理者から県に提出された医療保護入院者の入院届、医療保護入院者や措置入院者の定期病状報告書について、入院中の者の入院の必要があるか、またその処遇が適当であるかを審査します。

② 退院等の請求の審査

精神科病院に入院中の方又はその家族等から、退院の請求又は処遇改善の請求を受け、その入院の必要があるか、またその処遇が適当であるかを審査します。

相談連絡先一覧

相談先	電話番号	受付時間等	事業内容等
こころのダイヤル	028-673-8341	平日 月～金曜日 9:00～17:00	こころの健康に関して電話による相談を行っています。
精神科救急医療相談電話	0570-666-990	平日 17:00～翌日 8:30 土日・祝日・年末年始 (12/29～1/3) 24時間 ※R5年4月1日～ 受付時間変更	夜間休日における緊急的な精神医療相談を電話で受け付けます。助言や、必要に応じて医療機関の紹介を行います。
※精神保健福祉相談（予約制）	028-673-8452	平日 月～金曜日 午前 8:30～12:00 午後 13:00～17:15	来所による個別相談や集団指導等を希望するとき
※薬物特定相談（予約制）	028-673-8720	原則 毎月第3水曜日	電話相談・面接相談により依存症に関する支援を行っています。 ※必要に応じて日程調整します。
※ギャンブル等依存症特定相談（予約制）	028-673-8720	原則 毎月第1水曜日	
栃木いのちの電話	028-643-7830	365日 24時間	悩みを聴き、相談者が危機を乗り越えて自らの力でいきていけるよう電話を通して援助
とちぎにじいろダイヤル（性的マイノリティに関する電話相談）	028-665-8724	毎月第1・第3金曜日 17:30～19:30 ※祝休日及び年末年始を除く	性的指向や性自認に関する様々な悩みや不安などの相談に応じます。
認知症の方と家族のための電話相談	028-627-1122	月～土曜日 13:30～16:00 ※祝休日及び年末年始を除く ※毎月第4水曜日 (13:30～16:00)は来所相談にも応じています。	実際に認知症の方を介護した経験を持つ相談員による電話相談
児童家庭支援センター「にこにこ広場」	028-623-4152	月～金曜日 9:00～17:00 ※祝休日、年末年始を除く	子どもからの学校のことや家族のこと及び子育てにお困りの保護者の方からの電話相談・来所相談・訪問相談で対応。来所相談・訪問相談は要予約。

相談先	電話番号	受付時間等	事業内容等
児童家庭支援センター「ちゅうりっぷ」	028-686-2220	毎日 8:30～17:15	育児、養育、虐待、いじめ、不登校、非行などの相談
とちぎ性暴力被害者サポートセンター「とちエール」	028-678-8200 全国共通短縮ダイヤル #8891	月～金曜日 9:00～17:30 土曜日 9:00～12:30 ※第2土曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く	性犯罪・性暴力被害にあわれた方を総合的に支援するための相談窓口です。相談内容について、秘密は厳守します。夜間・休日はコールセンターにつながり相談できます。
男性のための相談電話	028-665-8724	毎週月、水曜日 17:30～19:30 ※祝休日及び年末年始を除く	男性の生き方や悩みについて男性相談員による電話相談
こころの相談@とちぎ 	LINE を活用したチャット形式	(R4.4.1～R5.2.28) 毎日 13:00～23:00 (R5.3.1～R5.3.31) 毎日 11:00～25:00	新型コロナウイルス感染症の影響による心の悩みに関する SNS 相談 令和 5 年 3 月 31 日まで 問い合わせ先： 県障害福祉課 028-623-3093
栃木県発達障害者支援センター「ふおーゆう」	028-623-6111	月～金曜日 8:30～17:15 ※祝休日・年末年始(12/29～1/3)を除く	発達障害児者とその家族、関係機関などから日常生活での様々な相談に応じます。保健・医療・福祉・教育・労働等の関係機関と連携
栃木県精神保健福祉会「やしお会」	028-673-8404	毎週水曜日 10:00～15:00 ※祝休日・年末年始を除く	こころに病を持つ人たちを抱える家族の会です。その家族による悩み相談と本音で包み隠さず話し合う家族同士の定例会(交流会)を行っています。
栃木ダルク	028-666-8536	月～金曜日 9:00～18:00	薬物依存症者の家族と本人、または依存者の周囲にいる人たちに具体的なアドバイスをし、施設への入所を含めた個別の相談を受けています。
栃木県断酒「ホトトギス会」	028-678-9969	随時 事務所不在時には折り返し連絡になることもあります。	お酒を止めたい本人とその家族からの相談を受けています。

相談先	電話番号	受付時間等	事業内容等
栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター 「ポラリスとちぎ」	028-643-3422	火～土曜日 10:00～19:00 ※祝休日・月・年末年始を除く	教育、福祉、保健、医療、雇用、矯正、更生保護等の様々な分野の行政、民間団体など地域の様々な関係機関と連携して、ひきこもり等困難を有する子ども・若者の健全育成や若者等の自立をサポートします。
	028-643-3438		中高年（概ね40～64歳）ひきこもり専用電話相談窓口
薬物乱用相談電話 栃木県保健福祉部 薬務課	028-623-3779	月～金曜日 8:30～17:15 ※祝休日・年末年始 (12/29～1/3)を除く	覚醒剤や大麻などの違法薬物に関する電話相談
栃木県消費生活センター	028-625-2227	月～金曜日 9:00～16:00 ※祝休日・年末年始 (12/29～1/3)を除く	消費生活に関する電話相談
宇都宮財務事務所	028-633-6294	月～金曜日 8:30～17:00 ※祝休日・年末年始 (12/29～1/3)を除く	多重債務の電話相談
栃木県医療安全相談センター	028-623-3900	月～金曜日 9:00～11:30、 13:00～16:30 ※祝休日・年末年始 (12/29～1/3)を除く	患者・家族からの医療に関する苦情や心配、相談に対応し、患者・家族が自らの力で問題を解決することができるよう、適切な助言を行っています。

相談先の※：精神保健福祉センター内



Ⅰ 精神保健福祉センター統計

1 技術指導・技術援助

事例検討

単位：件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保健所	0	1	1	1	0	1	0	1	0				5
宇都宮市保健所	0	1	1	1	1	1	1	1	1				8
その他	0	2	1	1	2	2	3	2	1				14
計	0	4	3	3	3	4	4	4	2	0	0	0	27

2 教育研修

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講師派遣	0	0	1	1	1	0	0	1	2				6
学生指導	1	3	3	0	1	1	2	0	0				11

3 普及啓発

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講師派遣	0	0	0	1	0	1	6	3	1				12

4 精神保健福祉相談

① 所内相談

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接相談	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
電話相談	96	82	125	91	114	96	106	82	61				853
計	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

② こころのダイヤル

単位：日、件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1,106	946	1,127	1,021	1,115	1,075	1,024	1,029	952				9,395

③ 家族教室・グループワーク

単位：延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ベルヴィー	7	5	9	5	7	9	3	7	2				54
TALK	4	5	5	4	4	5	5	5	3				40
ガイドポスト	/	4	4	4	4	2	4	4	4				30
Tochi-marpp	1	2	2	1	2	1	1	1	0				11
ギャンブル等依存症家族教室	/	/	/	/	/	/	/	10	7	/	/	/	17
スキルアップ家族教室	/	1	2	2	/	2	1	1	0				9
計	12	17	22	16	17	19	14	28	16	0	0	0	161

④ 特定相談等

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬物	0	0	0	0	0	0	0	1	0				1
薬物簡易尿検査	3	5	5	4	4	5	6	6	7				45
ギャンブル等 依存症				0	0	1	0	0	0				1
自死遺族		0	0	2	1	0	0	0	0				3
頻回自傷・未遂		1	1	1	1	1	1	1	0				7
計	3	6	6	7	6	7	7	8	7	0	0	0	57

5 精神医療審査会

① 定期報告

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療 入院届	188	183	186	205	198	197	173	186	179				1,695
保護 定期病状 報告	120	145	109	122	108	142	120	129	119				1,114
措置入院定期病 状報告	3	7	4	2	2	3	3	4	3				31
計	311	335	299	329	308	342	296	319	301	0	0	0	2,840

② 退院請求

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
任意入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
医療保護入院	0	1	3	0	1	1	0	1	0				7
措置入院	0	0	0	0	1	0	0	0	0				1
計	0	1	3	0	2	1	0	1	0	0	0	0	8

③ 処遇改善請求

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
任意入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
医療保護入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
措置入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 電話相談

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	10	14	19	20	2	3	23	10	17				118

6-1 精神障害者保健福祉手帳

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診 承認	641	588	682	652	538	723	625	576	732				5,757
断 保留	27	34	32	43	30	33	31	29	33				292
書 不承認	9	7	11	4	15	5	11	10	11				83
計	677	629	725	699	583	761	667	615	776	0	0	0	6,132

6-2 自立支援医療（精神通院医療）

単位：件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診 断 書	承認	1,294	1,237	1,446	1,259	1,239	1,545	1,248	1,312	1,618				12,198
	保留	18	16	31	47	26	36	32	37	18				261
	不承認	4	0	0	1	2	2	3	4	28				44
計		1,316	1,253	1,477	1,307	1,267	1,583	1,283	1,353	1,664	0	0	0	12,503

7-1 指定自立支援医療機関（病院診療所）

単位：件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規		2	1	1	2	0	0	1	4	0				11
更新		3	1	1	0	2	1	1	2	2				13
変更		3	1	1	0	6	5	0	0	2				18
休廃止辞退		1	2	0	0	0	0	0	3	0				6
計		9	5	3	2	8	6	2	9	4	0	0	0	48

7-2 指定自立支援医療機関（薬局）

単位：件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規		23	7	2	2	4	7	2	4	1				52
更新		16	13	4	5	2	5	2	4	7				58
変更		27	24	28	20	18	16	14	23	10				180
休廃止辞退		18	2	1	1	2	6	0	0	0				30
計		84	46	35	28	26	34	18	31	18	0	0	0	320

7-3 指定自立支援医療機関（訪問看護ステーション）

単位：件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規		3	2	0	0	1	3	1	2	0				12
更新		1	0	0	1	0	1	0	0	0				3
変更		1	3	6	2	8	9	4	4	4				41
休廃止辞退		1	0	0	0	0	0	0	1	0				2
計		6	5	6	3	9	13	5	7	4	0	0	0	58

8 外来診療

① 診察・診断

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診		2	0	1	4	2	0	1	2	5				17
再診		53	47	50	50	61	52	43	50	54				460
計		55	47	51	54	63	52	44	52	59	0	0	0	477

② デイケア

単位：延べ人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
P-デイ		13	9	11	12	20	12	16	18	16				127
スキルアップデ イケア		12	9	14	9	3	5	2	2	3				59
Teens+					3	6				1				10
計		25	18	25	24	29	17	18	20	20	0	0	0	196

10 精神科救急情報センター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談電話	58	70	59	57	57	51	68	59	40				519
振分電話	38	41	39	36	27	38	38	32	26				315
計	96	111	98	93	84	89	106	91	66	0	0	0	834

11 措置入院

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22条	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
23条	2	1	6	10	5	5	5	8	5				47
24条	1	0	1	1	1	1	1	0	0				6
25条	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
26条	0	0	0	0	0	0	0	1	0				1
26条の2	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
計	3	1	7	11	6	6	6	9	5	0	0	0	54
緊急措置 (再掲)	1	1	5	7	3	3	4	5	3				32

II その他の総計

1 自殺者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
栃木県	27	31	37	28	27	28	36	31	31				276
全国	1,811	2,171	1,974	1,863	1,777	1,928	1,761	1,771	1,567				16,623

栃木県前年同月累計比 100.4%

全国前年同月累計比 107.0%

編集後記 1

今年度の第1号 (Vol.46) が年末ギリギリに発行できましたので、年度内に第2号を発行しようと、センター内から原稿を募って編集しました。

今回は、主に令和4年12月末までに実施した事業の様子を紹介させていただきましたが、「研修風景の写真を掲載したい!」と担当者に詰め寄っても、「Web会議だから何もないよ」と寂しい回答。今後も研修風景は掲載できないのかしら。

他にも、相談連絡先一覧を拡充しました。少しでも手助けになれば幸いです。

編集後記 2

今年の冬は全国的に雪のニュースが多いですね。

精神保健福祉センターも、1月25日雪景色となりました。

サザンカ（山茶花）にも雪が積もって綺麗でしたよ。



※ 5ページ スキルアップデイケアのクイズの答え 「サンフランシスコ平和条約」